

講義科目 : インテリアデザイン	単位数 : 2
担当 : 中井 孝幸	学習形態 : 選択科目 建築士指定科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

- ・快適な生活環境を創り上げるために必要な基礎知識と計画手法を学ぶ。
- ・空間を構成する床、壁、天井の立体的な関係を理解する。
- ・家具や照明、素材などを「人と空間」との関係で捉えるようにする。
- ・3次元を2次元（図面・透視図・スケッチ）で表現できるようにする。
- ・課題を通じて、インテリアデザインの計画・プレゼンテーションを学ぶ。

授業計画

- 第1回 ガイダンス・住まいとインテリア（日本、西洋）
- 第2回 家具にみるデザイン様式の変遷
- 第3回 演習①：平面図、展開図の描法
- 第4回 人間工学について
- 第5回 演習②：インテリアパースの描き方
- 第6回 インテリアの安全性について
- 第7回 演習③：ベニヤ板1枚でデザインする椅子の模型制作
- 第8回 形・色・テクスチャーについて
- 第9回 空間と心理について
- 第10回 インテリアエレメント（壁・家具）のデザイン
- 第11回 インテリアエレメント（照明・サイン）のデザイン
- 第12回 演習④：A2判ケント紙でデザインする照明器具の模型制作
- 第13回 材料と仕上げについて
- 第14回 演習⑤：空間のインテリア設計、マテリアルプレゼンボードの作成
- 第15回 作品提出、講評会

教材・テキスト・参考文献等

- ・講義中に適宜参考文献を紹介するが、全般的なテキストとして以下を示す。
- ・インテリアデザイン教科書研究会編：インテリアデザイン教科書、第2版、彰国社

成績評価方法

- ・出席を毎回取る。遅刻厳禁。3分の1を超えて欠席した場合には評価の対象外とする。
- ・出席と演習課題の総合点により評価する。
- ・演習課題が未提出な者は、単位取得できない。
- ・出席15%、演習課題85%

実務経験

- ・組織設計事務所での勤務の経験を活かし、授業では実践的なデザインや計画について話をします。

その他

- ・演習課題に用いる製図道具やケント紙、模型制作の材料や用具などは各自でそろえる。